

修士論文 提出予定者へ

修士論文の体裁について

1. 用紙はA4サイズのものを用いてください。
2. 文書にはページ番号をつけてください。
3. 1頁の字数の目安は800字（一行32文字×25行が一般的です）としますが、あくまで目安で1頁1000字程度くらいまでなら構いません。余白は広めにとってください。
4. 図表は、文書と別紙で掲載して下さい（文書の最後に図表をまとめて掲載する形式でも、または文書のページの間図表ページを挟む形式でもどちらでも構いません）。
5. 製本した状態で提出してください。表紙には、「年度」「修士論文題目」「所属と指導教員名と学生番号」「氏名」をつけます（文学研究科のルールで必須です）。また、背表紙にも「題目」と「氏名」をつけてください（修論は講座の書架に保管されますが、保管の際に識別しやすいように、心理システムのルールでつけてもらっています。提出用と指導教員贈呈用にはつけましょう）。背表紙のテンプレートを心理システム Web ページの「ダウンロード」に置いておきますのでよければ使ってください。

表紙の例（文学部の掲示板も必ず確認しておくこと！）

平成 29 年度修士論文
修士論文題目
文学研究科人間システム科学専攻
指導教員 _____
学生番号 123456
氏名 _____

題目は題目届けと、ハイフン、「」『』なども同じにしなければいけません

背表紙の例

背部に貼りつけることを考えると、フォントを小さめにし（9～10pt）、できれば全体が1行におさまるように作るとよいでしょう

平成二十九年
度
修
士
論
文
修
士
論
文
題
目

氏
名

表紙の修士論文題目に関しては、[題目届けで提出したものと一字一句（ハイフンなども）同じものにしてください](#)。そうでないと事務の方が受け取ってくれません。題目届けで題目を「」に入っていたかどうかよく確認してください。[その他、表紙の体裁については、文学部教務掛からの指示に従ってください（文学部の掲示板に注意事項がはりだされます）](#)。たまに前年のものから変更されることがありますので注意してください。

修士論文の製本について

動物舎 A107 と古河講堂 209 に、製本器とカバーに用いる画用紙や製本用のテープを用意しています。なお、少なくとも締切日には、助教は動物舎 A107 に待機すると思いますので、一人で製本するのが不安な方は動物舎 A107 で製本する方がよいと思います。製本にかかる時間は3分程度です。製本機の使用法のファイルを、心理システム Web ページの「ダウンロード」に置いておきます（製本機の横にも印刷したものが置いてあります）。この製本器は高性能かつ少し特殊なもので、製本テープは生協などで一つずつ購入できるものではありません。よって、文学部事務提出用、自分用、指導教員への贈呈用と、最大3冊までの表紙・製本用テープのセットをこちらで提供いたします。ただし、それ以外に製本したい場合などは、提供できる数には限りがありますので、一般の製本器などを使用していただきたいと思います。一般の製本器の製本カバーは厚さによって数種類あり、生協で一個単位から購入することができ、また生協で製本することができます。

不明な点は、森本（文 202）まで。